令和4年度 浦添市消防本部運営方針

消防長からのメッセージ

この運営方針は本市のまちづくりの最上位計画としての位置づけである第五次浦添市総合計画及び消防計画に基づき令和4年度に消防本部が重点的に取り組む施策を明記したものです。
あらゆる災害に対し、市民の生命や身体及び財産の保護を迅速かつ的確に行なうため、消防施設整備及び設備の拡充を図るとともに、消防・救急・防火体制を強化し、「安心できるまちづくり」を実現するため、総合的な消防力の強化を目指します。

消防長 石原正常

消防本部の基本方針

災害や事故が発生した際に、市民の生命や身体、財産の保護を迅速かつ的確に行うために、消防・救急・救命体制の強化や市民の救急対応能力の向上など、総合的な消防力の拡充に努めます。

重点事業	内 容	担当部署
消防体制の整備・拡充	<p>1. 消防施設の拡充及び組織機構の見直しによる総合的な消防力の強化</p> <p>消防活動拠点としての機能を確保するため、今後の人口増加及び都市開発に対応すべく消防力の調査研究を行う。</p> <p>①浦添市公共施設等総合管理計画、浦添市公共施設個別計画、浦添市公共施設適正配置計画等に基づく消防庁舎等の改善、職場環境の充実を図る。</p> <p>②老朽化した牧港出張所庁舎においては、前年度耐震化工事を実施。その後も老朽化対策や消防活動拠点としての機能を確保するための施策を講じる。</p> <p>③消防組織力の向上のため、職員定数や組織機構改革の見直しに向けた調査研究を行い効率的な人員配置に取り組む。</p>	消防総務課
	<p>2. 整備更新計画に基づいた老朽化した消防車両及び資器材の整備</p> <p>整備更新計画に基づき、消防車両及び各種資機材を整備し安定した消防力を確保する。</p> <p>①消防車両等 ②警防資機材 ③救急資機材 ④救助資機材 ⑤水難救助資機材</p>	消防総務課
	<p>3. 市民等の安心安全を図るべく、AEDを使用した早期除細動体制の整備</p> <p>市内AED設置施設における早期除細動体制の確立、救命講習会の普及啓発を活発化させ、市民が安心安全に過ごせるようなまちづくりの整備に取り組む。</p> <p>①公共施設及び民間施設に設置されたAEDの有効活用、除細動パッドの助成事業及び救急ステーション制度の導入に向けた調査検討。 ②応急手当普及員の養成計画及び各種救命講習会開催計画の策定。</p>	消防総務課

	重点事業	内 容	担当部署
消防体制の整備・拡充	4. 人材育成及び教育訓練体制の充実	<p>消防の責務を正しく認識させ、社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応し、市民から期待される水準を満たす知識・技能を習得させることを目指し、県内外の研修訓練に職員を派遣する。</p> <p>① 沖縄県消防学校研修派遣(初任教育、警防科、予防査察科、火災調査科、救急科、初級幹部科、上級幹部科、水難救助研修、新任救急隊員研修(救命士)、救急隊長研修)</p> <p>② 救急救命九州研修所研修派遣(指導救命士派遣)</p> <p>③ 消防学大学校派遣(幹部科)</p> <p>④ 福岡市消防学校(九州地区予防実務研修)</p> <p>⑤ 市町村アカデミー(管理職の必須知識講座)</p>	消防総務課
	5. 働きやすい執務環境の整備	<p>① 職員の安全及び健康の確保並びに快適な職場環境の形成を促進するため、安全衛生管理体制の充実に向けた取組み。</p> <p>② 女性職員の活躍推進</p> <p>③ 障がい者活躍推進</p>	消防総務課
	6. 消防団員の確保推進及び装備等の充実強化	<p>消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に基づき、地域消防防災力向上のため、更なる消防団体制の充実強化を図る。</p> <p>① 消防団員任用条件緩和(在勤・在学者まで緩和)を受け、条例定数の消防団員数の確保に向けた取組みを行います。</p> <p>② 消防学校における教育訓練の充実及び署内定例訓練に実践的な内容を取入れ、消防団員の技術向上を図る。</p> <p>③ 沖縄県消防学校研修派遣(基礎教育、警防科、初級幹部科、指揮幹部科)</p>	消防総務課
	7. 服務規律の保持	公務の遂行にあつては、法令等を遵守し適正な執行に努める。	消防総務課
	8. 消防法令違反に対する是正推進	<p>① 特定防火対象物において重大な消防法令違反(屋内消火栓未設置、スプリンクラー設備未設置、自動火災報知設備未設置)のある防火対象物に対する違反是正の強化を図る。</p> <p>② 多様化する事業所形態に対し、消防用設備等の効果的な設置と適切な維持管理を推進するとともに、防火安全対策の指導と法令改正に伴う消防用設備等の設置、防火管理体制の指導の強化を消防署と連携を取り実施していく。</p> <p>③ 市内事業所の防火管理者未選任・消防計画未作成の防火対象物及び消防用設備等の未点検未報告の防火対象物に対する報告義務の強化を図る。</p>	予 防 課

重点事業	内 容	担当部署
消防体制の整備・拡充	<p>9. 住宅(高齢者)防火対策の推進</p> <p>① 住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の周知全世帯への住宅用火災警報器の設置に向け、広報うらそえやチラシ及びポスターの掲示を行い、効果的・効率的な普及啓発活動を行う。各自治会へは、パンフレット配布及びのぼり旗設置等を行い、未設置の高齢者世帯を中心に広く設置の推進を図る。また、住宅用火災警報器の設置が義務化されてから10年以上となり電池切れが増えるものと予想されるため、引き続き、住宅用火災警報器の設置普及はもとより経年劣化した住宅用火災警報器の交換等の促進も図る。</p> <p>② 地域と連携した防火対策市民の防火意識の高揚を図るため、秋・春の火災予防週間中における広報活動や巡回パトロール及び立入査察を実施し「市民が安心して生活できる環境づくり」に寄与する。</p>	予 防 課
	<p>10. 危険物施設査察</p> <p>① 浦添市火災予防査察規程に基づき、危険物施設の位置、構造、設備及び管理の状況並びに危険物の貯蔵・取扱い状況について法令遵守事項の確認を行い、事故防止の徹底を図るための立入検査を実施する。</p> <p>② 令和3年度に行った危険物施設の査察物件で是正が必要とされた施設の指導を徹底する。</p>	予 防 課
	<p>11. 消防行政におけるデジタル化とICTの活用</p> <p>デジタル技術を活かした業務の効率化、行政サービスの向上を目指し、予防情報管理システムの導入やPC、タブレット等を利用したリモート業務に向け取り組んでいく。</p>	予 防 課
	<p>12. 女性防火クラブ育成及び活動支援</p> <p>女性防火クラブは、火災予防の意識並びに防災に対する備えを習得するとともに、家庭から火災発生の防止や、地域における自主・共助連帯意識の強化、防火・防災思想の高揚を図ることを目的としている。</p>	予 防 課
	<p>13. 幼年消防クラブの育成及び活動協力</p> <p>本市において、昭和62年9月に発足し、現在24クラブが幼年消防クラブとして活動している。市内園児を対象に、火に対する(火遊び)怖さを教え、また、社会教育の一端として消防の仕事を理解してもらうことで、住民生活の安全を守るために消防職団員が日夜活動している実態にふれてもらい、防火意識を根付かせることを目的とする。同時に消防出初式や火災予防運動時のイベントに参加してもらうなど多くの園児たちの活動の幅を広げながらさらに充実した火災予防啓発活動を目指す。</p>	予 防 課
	<p>14. 緊急通報に対する対応能力の向上</p> <p>多種・多様な緊急通報において、適切な情報聴取と迅速・的確な判断及び対応に努める。</p>	情報指令課
	<p>15. 活動事後検証体制の充実強化</p> <p>実施した活動の対応や判断等を個人・係内・課内・他部署間で振り返り、奏功内容や課題等を抽出し改善・共有を行い活動の質の向上に努める。</p>	情報指令課
	<p>16. 通信指令員の教育と訓練</p> <p>通信指令員は専門的な技術や高い洞察力、コミュニケーション力、判断力が必要であり、その能力向上と人材育成に努める。</p>	情報指令課
	<p>17. 消防救急デジタル無線の整備更新</p> <p>1年、365日、24時間いつ起こるか分からない災害と、住民の「助けを求め声」に即応する体制の維持と機器の機能強化による体制向上のため、令和3年度に消防緊急通信指令施設の更新・整備を終え運用を開始した。今後においては更新・整備した消防緊急通信指令施設と連動した消防救急のデジタル無線側の機能の維持・向上に努める。</p>	情報指令課

重点作業	内 容	担当部署
18. 職員の健康、安全管理	1年、365日、24時間安定した消防指令センターの消防力を維持するため職員の健康管理及び、安全管理体制の充実・強化に努める。	情報指令課
19. 消防警備体制の充実強化	近年、都市構造の変化により建物は大型・高層化、用途の複雑・多様化の傾向にある。様々な状況下で消防活動を的確に遂行するため、既存の教育訓練はもとよりあらためて活動基準・プロトコール等の遵守や指揮命令系統に沿った中小隊長の災害対応能力向上のための教育訓練体制の確立に努める。またコンプライアンス推進委員会基本方針に基づき、災害活動の事後検証体制の見直し及びインシデント報告体制の仕組み作りに努める。	消防署(所)
20. 救急体制の充実強化	<p>①救急活動体制の向上 年々増加傾向にある救急出場件数に対応するため、救急車の効率的な運用と救急資器材の適切な維持管理に努める。 様々な疾患や事故・集団災害・特殊災害による傷病者の救命に迅速・的確に対応するためポンプ隊・救助隊やドクターカーとの連携の強化を図り救急体制の充実・強化に努める。 救急活動におけるICT化を推進し、医療機関等との効率的な情報共有やアプリ等を活用した外国語・手話通訳への対応力の向上に努める。 また、感染症に対する救急業務の重要性和感染防止対策の必要性を認識し、感染症適応能力を高め業務継続体制を確保する。</p> <p>② 救急隊員の質の向上 救急隊員個人及び救急隊チームの質の向上を目的に、救急隊員の教育・訓練・指導等の中核となる指導救命士を署所に配置し、傷病者に対して適切な観察・評価・判断・処置能力の向上に努める。定められた処置のプロトコール・活動要領・活動基準を遵守した活動を行い、指導救命士や南部地区MC(*1)協議会等、第三者による活動検証体制の充実・強化に努める。救急救命処置の拡大など近年高度化する救急処置に対する知識・技術習得のため、研修や病院実習への派遣を計画的に行い隊員育成に努める。</p> <p>③ 救命の連鎖による救命率の向上に向けた取り組み 感染症流行時においても創意工夫を行いながら幅広い年代層を対象とした定期的な救急法講習の開催と教育機関や事業所等を対象とした救急法講習を並行して実施します。またAEDの設置普及を促進し、応急手当の普及啓発を行い身近な人による救命(応急手当から救急隊による救命処置、医療機関での高度な救命処置の)連鎖による救命率の向上を目指す。</p>	消防署(所)
21. 救助体制の充実強化	災害現場活動力の向上と隊員個々の「心・体・技・知」の向上に努めると共に、近年の急速な都市構造や車両構造の変化、生物剤・化学剤・核による特殊災害及び震災などの自然災害に対応するための専門的な知識や新たな技術の習得を図り、安全・確実・迅速な現場活動に努める。	消防署(所)
22. 水難救助体制の充実強化	市の西海岸地域は浦添北道路及び臨港道路の開通や海岸線の整備により海に接する機会が増している。 このような環境の中、水難事故に対する災害現場対応力の向上と安全管理の徹底に努め水難救助隊訓練や消防学校での特別教育を通して隊員の泳力・潜水技術の向上を図り、水難事故事案における災害現場対応力の向上と安全管理の徹底に努める。 また、水上バイクや小型ボート及び水難対応資機材を有効に活用し、効果的な水難救助活動を展開すると共に他消防や関係機関との迅速な連携の構築に努める。	消防署(所)

消防体制の整備・拡充

	重点事業	内 容	担当部署
消防体制の整備・拡充	23. 大規模災害体制の充実強化	<p>近年、震災や自然災害等による大規模な災害が発生していることは記憶に新しく、当市消防においても単独消防のみでは対応困難な大規模な災害が発生した場合の受援及び応援に備え、「浦添市地域防災計画」、「浦添市消防大規模災害行動計画」、「沖縄県消防相互応援協定」、「緊急消防援助隊の応援等に関する要綱」に基づき、他市町村と連携した訓練を実施し大規模災害における消防体制の強化に努める。</p>	消防署(所)
	24. 事業所における防火安全対策及び住宅防火対策の推進	<p>火災時における人命救助の第一歩は、早期に火災に気づき避難を開始することと、早期の初期消火及び消火設備等を有効に活用し、機能させることが重要となることから、市民の防火・防災に対する意識と対応力向上のためのサポートを行う。</p> <p>特定防火対象物や防火管理者選任義務のある防火対象物等、火災予防上優先順位の高い防火対象物を重点に立入検査を実施する。</p> <p>防火管理者(統括防火管理者含む)の未選任や消防用設備等の未設置等、消防法令違反の速やかに是正指導に取り組み、消防法令に適合した安全性の高い建物の割合を高める。</p> <p>予防課と連携し、更なる住宅用火災警報器設置率の向上と住宅用火災警報器設置義務化から10年以上が経過したことを踏まえ、適切な維持管理の促進を行う。</p>	消防署(所)
	25. 市民参加型行事	<p>市民参加・体験型のイベントを開催し、市民と消防が直接ふれあう機会を通して消防行政への理解及び防火・防災意識の高揚を図るとともに、市民と共同して安心・安全なまちづくりを目指す。</p>	消防署(所)
	26. 署員の健康、安全管理	<p>1年、365日、24時間安定した消防力を維持するため職員の心身の健康管理及び、安全管理体制の充実・強化に努める。</p>	消防署(所)
	27. 消防団員の増員と活動の拡大	<p>地域における防火・防災の要としての役割を担っている消防団の充実と活動の強化を図るため、消防団活動の普及・啓発を積極的に行い団員数の増員に努めるとともに実践的な消防活動訓練を通して災害対応力の向上を目指す。</p>	消防総務課 消防署(所)

*1 MC(メディカルコントロール)

地域の病院前救護体制の質の維持と向上を目的に、消防機関と医療機関が連携し、「救急隊が現場からいつでも迅速に医師の指示、指導、助言が受けられる体制」、「実施した救急活動の医学的判断、処置の適切性について医師による事後検証体制」、「救急救命士の生涯教育の充実」、「検証に基づく救急処置のプロトコル作成・改定」等を担う協議会。(地域の医師・救急救命士により構成)